

## 解答例

## 適性検査Ⅰ

|   |      |      |                                       |     |
|---|------|------|---------------------------------------|-----|
| 1 | 問題 1 | 文章 A | 言葉をゆたかにすることによって、自分をゆたかにできる。(27字)      | 20点 |
|   |      | 文章 B | 言葉づかいの迷いと選たくは、物の考え方、感じ方につながる。(29字)    | 20点 |
|   | 問題 2 | (一)  | 言葉の使い方を考えることが、自分らしさを表現することにつながる。(32字) | 15点 |
|   |      | (二)  | 省略                                    | 45点 |

## 適性検査Ⅱ

|   |      |   |     |
|---|------|---|-----|
| 1 | 問題 1 | きょう給熱量を見ると、米は、昭和35年に比べて、昭和45年には約4分の3に減り、平成18年には約2分の1に減っている。ちく産物は、昭和35年に比べて、昭和45年には約2.3倍に増え、平成18年には約4.5倍に増えている。昭和35年ころは米をたくさん食べていたが、その後、米を食べるわり合が減り、肉などをとるわり合が多くなった。 | 15点 |
|   | 問題 2 | 発てんと上国を中心に、人口が急に増えていて、これからも増えていく。また、食用以外に使われているこく物のわり合が多くなっている。   | 15点 |
|   | 問題 3 | 家庭けい生ごみの量は、事業けい生ごみの量の2倍以上であり、家庭から出る生ごみの中で、食べ残しや手つかずの食品などが39%もすてられている。   | 15点 |
|   |      | 選んだ番号 ( ② )<br>冷ぞう庫の中にある食品の消費期限などを確にんして使う。  | 5点  |
| 2 | 問題 1 | ①<br>選んだもの ( 1 ) 分間泡 <sup>あわ</sup> 立てたもの<br>「5分間あわ立てたもの」の焼き上がりは、きめ細かいすき間が全体に広がっているが、それと比べて「1分間あわ立てたもの」はすき間がほとんどない。  | 10点 |

|   |      |  |  |      |
|---|------|--|--|------|
|   | 問題 1 | ②  | 「5分間あわ立てたもの」の「らん液」には、きめ細かいあわが多いが、それと比べて「1分間あわ立てたもの」の「らん液」には大きなあわしかなく、焼くとあわが消えてなくなっているから。 | 10 点 |
| 2 | 問題 2 | <p>①一次発酵について選んだもの ( A )</p> <p>②保存について選んだもの ( A )</p> <p>③行動予定</p> <p style="text-align: center;">前日の午後</p> <p>あ — 1:00</p> <p>な — 2:00</p> <p>た — 3:00 材料の計量とパン生地作り ( 3 時 )</p> <p>の — 4:00 室温 ( 2 0 ° C ) で一次発酵始め ( 4 時 )</p> <p>計 — 5:00</p> <p>画 — 6:00</p> <p>— 7:00</p> <p>— 8:00 一次発酵終わり、パン生地を冷ぞう庫に保ぞんする ( 8 時 )</p> <p>— 9:00 <sup>しゅうしん</sup> 就寝 ( 9 時 )</p> <p>～</p> <p style="text-align: center;">当日の午前</p> <p>— 6:00</p> <p>— 7:00 起しょう ( 7 時 )</p> <p>パン生地を冷ぞう庫から出す ( 7 時 5 5 分 )</p> <p>— 8:00 パンの成形と二次発酵始め ( 8 時 )</p> <p>二次発酵終わり、パンを焼き始める</p> <p>— 9:00 朝食 ( 9 時 ) ( 8 時 30 分 )</p> | 30 点   |      |

適性検査Ⅲ

|   |      |   |     |
|---|------|---|-----|
| 1 | 問題 1 | 置き時計のはりが10分進む間に、かい中時計のはりがどれだけ進むか調べてそれを6倍する。   | 15点 |
|   | 問題 2 | 選んだ時計（置き時計） 72時間<br>選んだ時計（置き時計とかい中時計） 30日後  | 15点 |
|   | 問題 3 | 十かんが1回りする間に、十二支は2つずつずれていく。そのときに十二支が元にもどるのは十かんが6回りしたときだから、 $10 \times 6$ で60年目になる。   | 15点 |
| 2 | 問題 1 | 少ない<br>なべの中の多量のスープよりも、うつわやスプーンに入れた少量のスープの方が早く冷める。また、図2と図3を見ると、 $70^{\circ}\text{C}$ から $40^{\circ}\text{C}$ に冷めるまでの時間は、はるきくんたちのはんが約30分、となりのはんが約20分で、となりのはんの方が冷めるのが早い。そこで、早く冷めたとなりのはんの方が、水の量が少ないと考えた。  | 10点 |
|   | 問題 2 | <p>水の温度(レーマーの温度)<br/>(度)</p> <p>加熱した時間<br/>(分)</p>  | 10点 |
|   |      | セ氏の温度の $0^{\circ}\text{C} \sim 100^{\circ}\text{C}$ は、レーマーの温度では7.5度 $\sim$ 60度である。レーマーの温度の1度は、セ氏の何 $^{\circ}\text{C}$ になるかを計算すると、 $100 \div (60 - 7.5)$ で約1.9 $^{\circ}\text{C}$ となる。グラフから読み取ったセ氏の温度を1.9でわった答えに、7.5度を足せば、ほぼレーマーの温度となるので、0分のときのセ氏約 $20^{\circ}\text{C}$ はレーマーの温度の約18度、同じように、5分のときの約 $80^{\circ}\text{C}$ は約50度、9分のときの約 $100^{\circ}\text{C}$ は約60度となる。 | 10点 |

|   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|
| 2 | 問題3 | <p>[温度計をつくる手順]</p> <p>②(B)のガラス管を①の容器に差しこむ。</p> <p>③デジタル温度計となべとガスコンロを使って40℃より高い温度のお湯をつくり、火を止めてから②の容器の部分をひたす。</p> <p>④ガラス管の上部をゴムせんでみっふうし、お湯が冷めて40℃になったら、油性ペンを使って、ガラス管の中のアルコールの高さのところに40℃の目もりを付ける。</p> <p>⑤なべの中を0℃の氷水に変え、②の容器の部分をひたし、油性ペンを使ってガラス管の中のアルコールの高さのところに0℃の目もりを付ける。</p> <p>⑥油性ペンと定規を使って、0℃と40℃の目もりの間を40等分した目もりを付ける。</p> | 15点 |
|   |     | <p>[選んだガラス管] (B)</p> <p>(B)のガラス管を選んだのは、アルコールの体積が増えたとき、(A)のガラス管よりも液の高さが大きく変化するから、より正確な温度計ができると考えたから。</p>   | 10点 |